

■ 発行：大学 e ラーニング協議会 事務局

## 1. 会長 ご挨拶

会長 不破 泰 (信州大学)

いつも大学 e ラーニング協議会の運営にご協力いただき、ありがとうございます。

世界中で Society 5.0 を目指した動きが出ています。1.0(狩猟社会)、2.0 (農耕社会)、3.0 (工業社会)、4.0 (情報社会) の次の社会のことであり、日本を含む世界中が、この 5.0 がすでに始まっているとしてさまざまな構想を持っています。

Society 5.0 とは、我々が存在しているフィジカル空間の様々なものからの情報が自動的にサイバー空間に送られ、そのサイバー空間で膨大な情報が蓄積されるとともに処理が行われ、その結果がまたフィジカル空間にフィードバックされて我々をサポートしてくれるという社会です。フィジカル空間とサイバー空間との垣根が無くなる社会とも言われています。

その基盤となる技術としては、フィジカル空間の様々なものからの情報をサイバー空間に送る技術として IoT が、サイバー空間上で膨大な情報を基に処理を行う技術として AI が、サイバー空間とフィジカル空間とで膨大なデータを高速・低遅延に送り合う技術として 5G が挙げられています。

こう書いていると、この Society 5.0 は、ICT 活用教育の中で既に先行して提唱されている社会という気がしませんか？

学生の様々な教育活動の情報が収集され (それは学校にとどまらず、家や屋外においても)、その情報が解析され、その結果から個々の学生の最適な教育がフィードバックされるという姿は、まさに Society 5.0 のミニチュア版ともいうべき姿です。

そのことを考えると、我々は次の 2 つの事を為すべきだと思います。

我々は、自信を持ってこれまでの ICT 活用教育の研究と実践を先行事例として異分野の社会に披露し、その知見を公開しましょう。それは、Society 5.0 の社会を机上の空論から現実のものにする大きな力となります。

逆に、Society 5.0 の実現のための上記 3 つの技術は、世界規模での研究・開発対象であり、これから大きく進歩していきます。その最先端技術は教育分野以外の例えば通信分野、人工知能分野、Web 分野などの分野で現れます。ですので、分野の垣根を越えた活動を行い、より進んだ技術を我々の研究に活かしていくことが必要になります。

大学 e ラーニング協議会は、こういった教育分野と異分野との強力な連携もこれから行う必要があると思っています。今後とも、活動にご協力頂くとともに、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

今後とも、よろしく願いいたします。

## 2. 2019 年度代表幹事校 ご挨拶

2019 年度代表幹事校  
長岡技術科学大学

2019 年度は、長岡技術科学大学が e ラーニング協議会の代表幹事校を担当させていただきます。当協議会発展のために微力ながら尽力させていただきます。会員大学各位には、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。2019 年度の総会・フォーラムは、2020 年 3 月 9 日～10 日に新潟県長岡市において、日本リメディアル教育学会 ICT 活用教育部会と合同で開催予定です。詳細が決まりましたら、メール等でお知らせいたします。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

2020 年 3 月 9 日(月) 幹事校ミーティング、UeLA 総会・フォーラム、情報交換会  
2020 年 3 月 10 日(火) 日本リメディアル教育学会 ICT 活用教育部会

### 【2019 年度 運営体制】

- 会長 : 不破 泰 (信州大学)
- 代表幹事校 : 長岡技術科学大学
- 監査校 : 愛媛大学、長岡技術科学大学
- 事務局校 : 信州大学、大手前大学、金沢大学、佐賀大学、創価大学、千歳科学技術大学、帝塚山大学
- 幹事校 : 山梨大学、岩手県立大学、愛媛大学、大手前大学、金沢大学、熊本大学、佐賀大学、信州大学、創価大学、千歳科学技術大学、帝塚山大学、長岡技術科学大学

## 3. UeLA & JADE 合同フォーラム 2018 開催報告

2018 年度代表幹事校  
山梨大学

3 月 14 日 (木)、3 月 15 日 (金) の 2 日間にわたり、山梨大学甲府キャンパスにおいて、「授業設計理論と ICT 活用教育の接続」をテーマに、UeLA & JADE 合同フォーラム 2018 が当協議会と日本リメディアル教育学会の主催、山梨大学との共催、山梨県教育委員会及び特定非営利活動法人大学コンソーシアムやまなしの後援で開催されました。

1 日目は当協議会主催による「大学 e ラーニング協議会フォーラム」が開催されました。午前中は 1.ChiLO Book の演習 2.共通基盤教材の利用事例 (入学前教育/初年児教育) に関するワークショップを開催し、当協議会が提供するシステムの機能や教材の紹介を行いました。

午後は開会式の後、熊本大学 平岡齊士氏・合田美子氏をお迎えし、「ID の設計理論と e-Learning への実装」と題した基調講演をいただきました。平岡先生から、Instructional Design (ID) の基本 (教育活動の効果・効率・魅力を高める手法の集大成, 学習目標・教育内容・評価方法の整合と改善, 教員の仕事は学習環境の構築), 熊本大学公開講座「ID 入門編」(事前学習オンライン 1 か月, 対面ワークショップ 1 日, 事後学習オンライン 1 か月), 教員の役割はフィードバックに注力すること, など示唆に富むお話を頂いた後, 合田先生より, ID に関する研修について, その設計と実施方法について, 詳細にご紹介いただきました。

続いて行われた開催校実践報告では、工学域教授 森澤 正之氏に「山梨大学の反転授業の取り組み」と題して報告をいただきました。主体的・対話的で深い学びを求められる昨今, 知識の獲得と定着を目的とした授業においても伝統的な講義形式の授業を継続しているだけで大丈夫か, という問題意識の下, アクティブラーニングを効果的に取り入れる手段として反転授業の実践例と効果

をご紹介いただきました。

その後、出展企業 6 社の紹介を経てポスターセッション会場へ移動し、7 大学 (岩手県立大学、愛媛大学、大手前大学、信州大学、千歳科学技術大学、熊本大学、山梨大学)、2 企業 (株式会社アップ、株式会社ナレロー) から、取組事例や研究事例、開発商品について 10 件の発表がありました。

2 日目は日本リメディアル教育学会 ICT 活用教育部会/大学 e ラーニング協議会 合同研究会が開催されました。午前は 2 つのセッションに分かれて、計 13 件の研究発表が行われました。午後は、公立はこだて未来大学から富永 敦子氏「データを利用した実践的なチュータートレーニングの実施」、九州大学から山田 政寛氏「ラーニングアナリティクスに基づいた教育・学習支援をするためには」をお迎えし、シンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、アメリカ合衆国における CRLA (College Reading & Learning Association) チュータートレーニング認証制度などの組織的な支援体制事例や、学習支援活動に関するアンケートをデジタル化した事例の紹介、e ポートフォリオ等のデータ蓄積方法、蓄積したデータの分析・活用方法、ラーニング・アナリティクスセンター運営における ICT 活用について熱心に議論が行われました。

本合同フォーラム 1 日目は 63 名、2 日目は 54 名、2 日間で延べ 109 名の方にご来場いただき、盛大にフォーラムを開催することができました。遠路遙々ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

## 4. 事業予定

9 月に教育システム情報学会の全国大会が浜松にて開催されます。これとジョイントして協議会の幹事校ミーティング及び公開ワークショップを開催します。

### 1) 幹事校ミーティングの開催

日時 2019 年 9 月 10 日 (火) 午後 3 時 00 分～  
会場 静岡大学浜松キャンパス 情報学部 1 号館 5 階 1501 室  
(静岡県浜松市中区城北 3-5-1)  
JR 東海浜松駅より 大学行きバス 14:25 発 14:37 着

### 2) UeLA & JADE 合同フォーラム 2019 の開催

日時 2020 年 3 月 9 日(月) 幹事校ミーティング、  
UeLA 総会・フォーラム、情報交換会  
2020 年 3 月 10 日(火) 日本リメディアル教育学会 ICT 活用教育部会  
会場 長岡技術科学大学

### 3) 大学 e ラーニング協議会 第二・三部会 合同フォーラムの開催

日時 2019 年 8 月 26 日 (月) 午後 3 時 00 分～  
8 月 27 日 (火) 午前 10 時～  
会場 金沢工業大学

## 5. 協議会よりお知らせ

### 1) 共通基盤システム活用のご案内

協議会では、一昨年度まで文部科学省の補助事業で行ってまいりました大学間共同教育連携事業の成果を引き継ぎ、本協議会会員向けサービスとして、基盤教育向けの e ラーニング教材の共同利用を開始しました。数学（中学・高校・大学初級）、日本語、SPI 対策をまずは利用できます。また、年内には英検対策（5 級から準 2 級）までの内容を整備します。

会員大学は、試験利用期間（1 年間程度）は無料で、本格利用に際しては年間 7 万円で、どの科目でも利用可能としています。詳しくは、下記までご連絡ください。

千歳科学技術大学 理工学部 教授 小松川浩 hiroschi@photon.chitose.ac.jp  
千歳科学技術大学 理工学部 助教 山川 広人  
yamakawa@photon.chitose.ac.jp

### 2) 大学間連携 FD 研修 要請のご案内

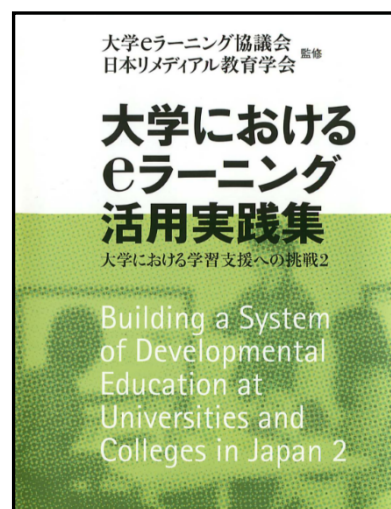
協議会では、ICT を活用した FD 研修やシステムに関する利用説明に対する、大学間の調整を行っています。

上記の共通基盤を活用した事例の紹介、入学前教育の実践事例、反転学習の取組み、また、Moodle の運用方法等、連携大学が提供可能な情報について、講師派遣の形で、各大学の FD 研修などに派遣をいたします。

協議会 HP の「視察・講師派遣」ページをご覧ください、ご興味のある大学は、担当校 信州大学 新村（uela-dispatch@googlegroups.com）までご連絡ください。

「視察・講師派遣」ページ：

<https://www.uela.cloud/index/dispatch.html>



## 6. 書籍のご案内

日本リメディアル教育学会 (<http://jade-web.org>) と本協議会が監修した書籍「大学における e ラーニング活用実践集 大学における学習支援への挑戦 2」が、2016 年 1 月 30 日に、ナカニシヤ出版から発行されました。

<http://www.nakanishiya.co.jp/book/b214708.html>

この書籍は、大学教育現場での ICT を活用した教育実践とアクティブラーニングを含む新たな教育方法、教育効果の評価に関する知見をまとめ、さまざまなノウハウとともに紹介したものです。

ご購入、図書館への推薦など、ご周知くださいますようお願いいたします。

## 7. 事務局からのご案内

### ■会費納入のお願い

2018 年度および 2019 年度の会費未納の機関は、納入をよろしくお願いいたします。

振込口座 銀行名：北洋銀行 支店名：千歳中央支店 口座番号：普通  
4126901

口座名義：ダ イ ガ イ ラーニング キョウカイ  
大学 e ラーニング協議会

### ■加盟大学イベント案内

加盟大学主催のフォーラム等の案内を当協議会ホームページ上でご案内させていただいております。掲載を希望する大学は事務局までご連絡ください。

協議会加盟大学の皆様が学会表彰を受けられたニュース等もニュースレターに掲載させていただきたいので、情報がございましたら是非お寄せください。

大学 e ラーニング協議会ニュースレター NO.19

発行：大学 e ラーニング協議会 事務局

発行日：2019 年 7 月 22 日

お問合せ：office@ucla.jp